

もくじ

えび人 vol.87	2	相談	7
今号の表紙	3	図書館	8
文化会館	6	子育て・HUGHUG赤ちゃん	10

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 間時間 場場所 対対象 定定員
内内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期
条条件 主主催 Eメール ホホームページ 問問い合わせ
申申し込み 予予約制 祝祝祝日・振替休日を除く 休休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」が届きます

市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。
ご協力ありがとうございました。

題 字

えびな

気持ちをこめ、ていねいに書きました。
杉本小学校 菊池溪斗さん(10歳)

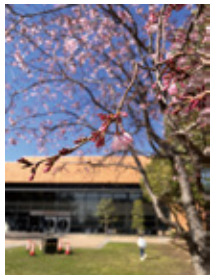


写 真

タイトル：三分咲き？

撮影場所：文化会館

撮 影 者：中央在住
若杉みどりさん



(写真上)作業場を満たす工具は宝物。ホームセンターめぐりも楽しみ

(写真中)旧勝瀬地区があった相模原市に何度も足を運んで完成させたお囃子の譜面

(写真下)自宅前の畑。季節の野菜を作るのも生きがい



賽銭箱台や太鼓台、氏子の名簿札などを作り図面も描きました。「木工も、あれこれ言う周りの声を形にしていくなも好きで、楽しくてね。後の人が困らないように寸法も残しています。とにかく、やることはやった。後はいかに継続するか、です」

後世に残る資料を作り上げた達成感と歴史をつなげる使命感を胸に、勝瀬の未来を見据えます。

勝瀬は相模ダム建設により移住を余儀なくされた人たちが住み始めた地区。小野さんは「郷土の歴史や行事をつなぐことはとても重要」と、地域文化の継承に何十年も情熱を注いできました。勝瀬地区で連綿と伝わる祭り囃子の譜面の書き起こしも行い、お囃子を復活に導きました。「元々なんでも興味をもつし、調べて、やってみて、って性分なんだよね」。総代を務める鳳勝寺と八坂神社の資料作りは今のライフワークです。年中行事の飾りつけやしきたりを詳細にまとめ上げ、

郷土の文化を探求
勝瀬を守り伝える

今月のえび人

小野光正さん
(勝瀬在住・78歳)

交通指導員歴約18年、現在は勝瀬支部長。そのほか多くの地域活動に貢献。とし、交通安全活動への功労と32年間の無事故無違反を称える交通米営章「緑十字銀章」を受賞。